

施設名	大阪歴史博物館
件名	大阪歴史博物館情報システム更新にかかる設計業務委託

番号	資料名称	項目・ページ	質問内容	回答
1	04_計画書付 帯資料3-1	1ページ 3.②	「現在複数レコードに分かれて登録されている資料については、統合する」とあるが現状複数ある関連するレコードをまとめるための枝番や目印が統一して存在する認識で良いか。	「館藏品ID」「部門番号」など、各資料ごとに振られた値が存在しますので、それらを照合することで各レコードを統合する想定です。
2	04_計画書付 帯資料3-1	2ページ 3.⑤ 4.③	、、、学芸員・司書との協議の上、改修を行う。とあるが本業務で協議を行い大阪歴史博物館様からの明確な答えをすでにお持ちであると考えて良いか。時間が掛かる場合は協議の上要件定義から外す場合があると考えてよいか。	当館としての方向性はありますが、協議の結果、時間・費用がかかるなどの理由から、実現可能性および費用対効果が少ないと判断された仕様については、要件定義から外す場合もあります。
3	04_計画書付 帯資料3-1	2ページ 4.①	図書DBに格納されているレコードから2Fの端末で図書DBにアクセスすると2階「なにわ歴史塾」のコンテンツのみ検索が可能、12Fの端末でアクセスすると12Fのコンテンツのみが検索可能という認識でよいか。	一般利用向けに設置されている図書検索端末からは公開用図書DB ( <a href="https://www.wdb2.osakamushis.jp/books/userj/search.html">https://www.wdb2.osakamushis.jp/books/userj/search.html</a> ) にアクセスさせているのに対して、同じ2階であっても図書カウンター内ではイントラネットワークに接続し、内部用(管理用)DBを閲覧しています。(「計画書付帯資料1_現行稼働システムの概要」p.2およびp.8、ならびに「計画書付帯資料3-2_参考資料_資源データベースの概要」p.3を参照のこと)
4	04_計画書付 帯資料3-1	2ページ 4.①	2階、12階、13階にてそれぞれのコンテンツを検索させる場合、各階の端末は、内部のDBと公開用外部のDBのどちらにアクセスするのか?	2階については質問番号3を参照。12階および13階はいずれもイントラであるため内部用(管理用)DBを中心に運用しています。(「計画書付帯資料1_現行稼働システムの概要」p.2およびp.8、ならびに「計画書付帯資料3-2_参考資料_資源データベースの概要」p.3を参照のこと)
5	04_計画書付 帯資料3-1	2ページ 4.①	「それぞれの配架場所ごとの検索を可能とする。」とあるが現状データからこれらを明確に区分する項目はある認識で良いか	「開架/書庫」カラムが存在するため、これを用いて配架場所の区分を行う想定です。
6	04_計画書付 帯資料3-1	2ページ 4.②	書誌情報の出力を可能とするとは書誌情報を個別で特定の項目の内容を出力するという事でしょうか?その場合の出力フォーマット(ファイル形式)はどのような物を想定しているでしょうか?	書誌情報の出力を可能とすることで、適切な引用(サイテーション)を行うことを目的とした改修ですので、書籍などの書誌情報を個別で出力することを想定しています。書誌情報の記述方式、ならびに出力フォーマットにつきましては、設計の段階でご相談したく存じます。 また当館が現段階で想定している、書誌情報の出力方法などにつきましては、「国立国会図書館サーチ」の事例をご確認いただけますと幸いです。 ( <a href="https://ndlsearch.ndl.go.jp/">https://ndlsearch.ndl.go.jp/</a> )
7	04_計画書付 帯資料3-1	2ページ 4.②	書誌情報の出力はどのようなユーザーを対象に考えているのか?内部学芸員、公開DBの外部ユーザー、両者など?	両者を想定しています。

番号	資料名称	項目・ページ	質問内容	回答
8	05_計画書付 帯資料3-2	3、4ページ (6) 現状の 課題	資源データベースの画像整理等うまく整理ができていないとあるが、基本的なことであるためこれらの基本データベースの情報整理を行うことができるプログラムなどを開発する要件定義は本件に含まなくてよいか。	あらたなアプリケーションおよび既存DBへのスクリプト作成は設計業務を通じて検討し、必要となれば要件定義に含むこととなります。
9	06_計画書付 帯資料4	1ページ、●稼働中仮想マシンの継続/廃止	●稼働中仮想マシンの継続/廃止の中の廃止については、移行等の指示がないものについてはなくすで良いか。	当該一覧の「措置方針」欄にある「継続」または「廃止」の指示に準じていただくことが仕様となります。